

## 古田嘉章氏文書(1)概要

- 1: 文書群番号 074012
- 2: 文書群名 古田嘉章氏文書(1)
- 3: 出所 古田嘉章家
- 4: 家業・役職等 時友村庄屋・戸長
- 5: 地名 摂津国武庫郡時友村／兵庫県武庫郡時友村／武庫郡武庫村時友／尼崎市時友／尼崎市武庫之荘9丁目ほか
- 6: 行政区分 幕府領／尼崎藩領／兵庫県第8区／常吉組戸長役場／武庫村／尼崎市
- 7: 歴史  
時友村は、市域北西部に位置する。史料上の初見は応永29年(1422)「足利義持寄進状」(醍醐寺文書／『尼崎市史』第4巻)で「野間庄内時友名」とある。中世から近世にかけて野間荘が野間・友行・時友の3村に分離していったものと考えられる。  
村高は慶長10年(1605)に268石余、元禄15年(1702)・天保5年(1834)に307石余とある。また天和・貞享年間(1681～1688)には家数42軒・人数212人、天明8年(1788)には41軒・220人であった。富松井組に属した。氏神は友行の須佐男神社(近世には牛頭天王社)、寺院は浄土真宗本願寺派万福寺。  
昭和40～平成元年(1965～1989)の住居表示により、時友という地名は消滅した。
- 8: 伝来  
市史編集室が調査済みであった本文書群を、昭和50年に古田嘉章氏が史料館へ寄託。平成29年3月～9月にボランティアが再整理、令和3年6月に目録作成が完了した。
- 9: 史料入手先 古田嘉章氏
- 10: 点数 661点(目録件数430件)
- 11: 年代 慶安5年(1652)～明治27年(1894)
- 12: 構造と内容  
本文書群は、大半が近世史料で、一部明治期の史料も含まれている。  
①支配関係、②土地関係、③戸籍・宗教関係、④用水関係、⑤金融関係史料等からなる。  
①は御触書、諸事留控帳などがあり、②は検地帳・名寄帳等の土地台帳などがある。  
③は万福寺及び氏神関連史料のほか、人別送り状がまとまっている。  
④は野間井用水争論が中心であり、⑤は金銭貸借証文がまとまっているほか、頼母子講関係史料も多い。  
また時友村の村絵図も数多く残されていて目を引く。  
古田嘉章氏文書(2)377点、同氏文書(3)215点と本来一体である。
- 13: 関連史料 古田嘉章氏文書(2)、同氏文書(3)
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 河野未央、城戸八千代、松本望

※本目録は『古文書・近現代文書類目録集3』(『尼崎市史編集目録集22』)掲載の「古田嘉章氏文書目録」に新たに差出(編著)・宛先・形態・点数・和暦(年月日)・西暦等の情報を追加しました。  
※本目録を作成するにあたり、本文書群の再整理を行いました(作業期間:平成29年3月～9月)。再整理(文書整理カード採録)は、史料館のボランティアの方々にご協力いただきました。  
※河野が『古文書・近現代文書類目録集3』を参照の上概要を作成、城戸がボランティアの方々が採録したカードのチェックとデータ入力、松本が入力データの見直し、主題分類および目録編成、概要の全面改訂を担当した。